



森の学校 楠学園は、蒲生町新留地区の山間にある小さな認可外の私立学校（フリースクール）です。

今回は学校経営、地域活動に奔走する楠学園の代表、藤浦さやかさんにお話を伺いました。

蒲生でフリースクールを始めた動機は？

以前、県外で小学校の教員をしていたのですが、時代の変化によつて学校の枠に収まりきらない子どもが増えているのを感じていました。エジソンのように、豊かな才能があつても集団生活になじみにくい子もいます。

子どもたちの選択肢をふやすため帰郷を兼ねて学校を始めることにしたのですが、鹿児島市から通学可能な範囲をあちこち見て回つたところ、蒲

生の人と空気に惚れ込んでこしかない！と感じました。官民に関わらず人と人がつながついて本当に素晴らしいです

現在 どのような活動をされていますか？

体験を通して力を伸ばすNPO立の小学校や自然の中でびやかに遊ぶ「森のようちえん

「かむおん」の3つが柱です。いずれも、子どもたちが主体的に動けるよ

地域に見守られながら、体験を通して生きる力を伸ばす



▲大学院卒業後、木工家をめざしながら知的障害者施設を経てきた藤浦さん。幅広い子どもたちと真正面に向かい合っています。

うな場を目指しています。

活動を通して子どもたちがや地域にどのようなことを感じていますか？

ただ信じて見守つてあげただけでこんなにも力を発揮するのかと感心する日々です。

新留地区の方が子どもや孫のようにあたたかく声を掛けてくださるので本当に驚かされます。大人の持つ常識や価値観の枠にはめるのではなく、ひとりの人として尊重し

なで生きる可能性のあるところだと感じています。

最後に一言

全国的にオルタナティブスクール（フリースクール）への誤解や偏見が根強い中、新しい学びの形態を可能性として受け入れていく始良市は、かなり先進的であるといえます。

今後官民一体となり、どうすれば子どもたちや

地域住民がよりいきいきと輝くのかを第一に考え、みんなで力を合わせていきたいですね。

お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。

今後も学校経営、地域活動と幅広く活躍を期待しております。

（聞き手 小山田）



▲休校中の新留小学校の校庭で行われた秋の運動会。地区の運動会も兼ねて実施され、地域の多くの方も参加されました。久しぶりに校庭に子どもたちの声がこだました一日でした。